

平成21年度「東京都環境賞」(局長賞)受賞について ～「東京グリーンシップ・アクション」に延べ875名の社員ボランティアが参加～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2004年から東京都が主催する自然環境保護活動「東京グリーンシップ・アクション(※1)」に参加しておりますが、このたび自然環境保全の功績が評価され、東京都より平成21年度「東京都環境賞(※2)」(局長賞)を受賞しましたので、お知らせいたします。

東京都環境賞は、良好な環境の確保への功績が認められた団体・法人・個人に対して東京都より贈られる賞で、東京においてより一層の環境保全を図ることを目的としています。

当社は2004年11月から、「東京グリーンシップ・アクション」の一環として、町田市の「図師小野路(ずしおのじ)歴史環境保全地域」において、地元農家の皆様のご指導のもと、社員およびその家族ボランティアが伝統的な農法による稲作に参加し、東京に残された貴重な自然環境の保護と里山景観復元に貢献してまいりました。これまで本活動には合計32回、延べ875名が参加しております。

当社は、「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」のグループ理念のもと、社員ボランティアによる環境貢献活動として、当活動の他、全国6カ所に開設した「ENEOSの森」における森林保全活動、東京都と協定した「ENEOS日比谷公園花壇整備」による都市緑化にも引き続き取り組んでまいります。

※1…都が指定する「保全地域」において都、NPO、企業等が連携した自然環境保全活動。

「保全地域」とは、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、都内に残る貴重な自然地を都民の大切な財産として末永く残していくことを目的として東京都が指定した地域。都内には46の「保全地域」があり、そのうち一部の地域で本活動が行なわれている。

※2…平成4年度より実施。知事賞と局長賞がある。

以上

<「東京グリーンシップ・アクション」活動の様子>



田植え



稲刈り